

Bonjour à tous.

受講生のみなさま、こんにちは！

春の訪れが待ち遠しい昨今ですが、いかがお過ごしでしょうか。通信事務局では、コロナ感染予防対策を徹底しながら、生徒様のフランス語学習のサポートをしております。

今回のニュースレターでは、生徒様からよくいただくお問い合わせについてご案内します。今週も、健康に気をつけながら、フランス語の学習を継続しましょう！



■ 当館受付での答案の提出について

通信課題提出用専用ポストは、増改修工事期間中は、ご利用いただけません。答案をお持ちいただく場合は、受付営業時間内に受付にご提出ください。月曜日は受付不在ですのでお気をつけください。

■ よくあるお問い合わせについて

Q1：会話サポートのSkypeレッスンは、生徒から先生に連絡しますか？

生徒様から先生にレッスン時間になったら連絡してください。先生ごとにスカイプIDが異なりますので、初めてレッスンする先生には、必ず、レッスン前日までにコンタクト申請を行ってください。万が一、生徒さまからの連絡がない場合、ネット接続のトラブルがあった場合など、こちらから連絡を取ることができます。

Q2：質問サポートの利用に、回数制限はありますか？

お一人何回までという決まりはございませんが、質問の解答への再度の質問はお控えください。どうしてもわからない点がありましたら、再度質問する前に事務局までご連絡ください。

■ フランス語の教科書の購入について

「フランス語書籍専門 欧明社 Librairie OMEISHA」は今月2月をもって閉店となります。閉店後の教科書の購入は、「紀伊國屋書店」、「英語教材専門店ネリーズ」などにてご購入ください。お取り寄せの場合は、お時間かかる場合がございますので、お早めにご注文ください。

現在「欧明社」では閉店セールを行っております。書籍のほか朗読CDや映画のDVDなどもございますので、お近くにいらした際は、ぜひ掘り出し物を見つけにお立ち寄りください！

欧明社本店：東京都千代田区富士見2-3-4 <http://www.omeisha.com/>

紀伊國屋書店ウェブストア：<https://www.kinokuniya.co.jp/>

英語教材専門店ネリーズ：<https://nellies-bs.com/shop/>

～ フランス語資格試験DELF/DALF ～

フランス語資格試験DELF/DALFまたは仏検でフランス語力を試してみませんか？ DELF (Diplôme d'études en langue française)・DALF (Diplôme approfondi de langue française) はフランス国民教育省認定の外国語としてのフランス語資格試験で、1度取得すれば更新の必要はありません。

出願受付期間：2月18日(金)～4月21日(木)

筆記試験：6月4日(土) or 5日(日) 口頭試験：6月4日(土) or 5日(日) or 12日(日) or 19日(日)

試験日程は次のページご確認ください。https://delfdalf.jp/calendrier_jp_new.php

試験のお申込み(2/18～)：<https://tokyo.extranet-aec.com/examinations/view/all#/>

Bien qu'ils se prononcent de la même manière, rien ne semble plus opposé que le *conte* et le *compte* : dire un *conte*, narrer une histoire, n'a rien à voir avec faire un *compte*, additionner ou multiplier ! Les lettres ou les chiffres, le français ou les maths, Homère ou Pythagore : il faut choisir !

Et pourtant l'étymologie, elle, nous dit l'inverse : *conte* et *compte* sont, historiquement, un seul et même mot ! Cela mérite d'y regarder de plus près.

Du verbe au nom

Une remarque générale d'abord. On pense souvent que les verbes, en particulier les verbes en *-er*, sont construits sur le nom : *voyage* → *voyager*, *travail* → *travailler*. C'est parfois vrai, mais c'est souvent l'inverse : le nom est fréquemment un dérivé du verbe. C'est le cas ici : les noms *conte* et *compte* sont issus des verbes *conter* et *compter*.

conter

Ce verbe, attesté en 1080 sous la forme *cunter*, contient alors les deux sens de *conter* (« raconter ») et de *compter* (« énumérer, calculer »). Il résulte du verbe latin *computare*, qui signifie « calculer » ou « dénombrer ». C'est donc bien le sens mathématique qui est premier dans ce verbe. Mais comment passe-t-on du sens de « dénombrement » à celui de « narration » ? Tout simplement, parce qu'un récit est, à la base, une suite d'événements, une liste de faits, bref, une énumération : pensons par exemple à la liste des descendants d'Adam dans la Genèse ou à la suite des chapitres numérotés d'un roman.

compter

Cette orthographe, plus proche de la forme latin *computare* que celle de *conter*, pourrait sembler plus ancienne. En réalité, cette orthographe a été inventée au 15^e siècle pour imiter le latin : c'était plus chic, et cela a permis de distinguer le sens plus savant de « calculer » du sens plus populaire de « raconter ».

computare

Pour finir, un bref coup d'œil à l'étymon latin *computare*. Vous avez déjà deviné qu'il a donné le mot anglais *computer* (*ordinateur* en français). Il est composé du préfixe *cum-* (« avec, ensemble ») et de la racine *putare*. Ce verbe polysémique (« battre », « laver », « couper », « compter », « penser », etc.) a donné de très nombreux dérivés en français : *disputer*, *députer*, *réputer*, *supputer*, *imputer*, *amputer*... Un jour, si j'ai le temps, je les **compteraï** tous, et je vous **conterai** leur histoire !

conte (物語) et *compte* (計算) は、同じように発音されますが、この2つの言葉ほど正反対のものはないように思われます。物語を話したり、話を述べることは、数を数えたり、足し算や掛け算をすることとは何の関係もありません。文字あるいは数字、国語もしくは数学、ホメロスまたはピタゴラス、どちらか選択しなければならないでしょう！

とは言っても、言葉の語源は、この逆のことを言っています。*conte* と *compte* は、歴史的には、同じ一つの言葉です！それなら、もっとよく見てみる価値がありますね。

動詞から名詞へ

最初に一般的な意見です。動詞、特に *-er* 動詞は、*voyage* → *voyager* (旅行・旅行する)、*travail* → *travailler* (仕事・仕事する)、という風に、名詞を基に作られると考えられています。これは、真実でもありますが、しばしば逆の場合もあります。名詞は、時おり動詞から派生された言葉です。この *conte* と *compte* のケースに当てはまります。名詞の *conte* と *compte* は、それぞれの動詞 *conter* (語る) と *compter* (数える、計算する) から来ています。

この動詞 *conter* は、1080年に *cunter* の形で用例があり、ここでは、「語る」と「数える、計算する」の2つの意味が含まれています。これはラテン語の動詞 *computare* に由来し、「計算する」または「数える」を意味します。ですので、この動詞の最初の意味は数学的な意味です。しかし、どのように「数える」の意味から「物語る」の意味へ移行したのでしょうか。単純に、物語というものは、基本的に出来事の連続であり、事件のリストであり、つまり列挙されています。例えば、創世記はアダムの子孫のリスト、小説では番号が付けられた章の結果と考えてみることができるでしょう。

この綴りは、*conter* の綴りよりもラテン語の *computare* の形に近いので、古く見えるかもしれません。実際、この綴りは15世紀にラテン語を模倣するために考案されました。より上品で、より学問的な意味の「計算する」とより一般的な意味の「語る」を区別することができました。

最後に、ラテン語の *computare* の語源核について簡単に説明します。すでにこの単語が英語の *computer* に付けられたとは推測できますね。 *computare* は、接頭辞 *cum-* 「一緒に」と多義的な語根の *putare* から構成されています。この多義的な動詞(「打つ」、「洗う」、「切る」、「数える」、「考える」など)から多くのフランス語の派生語が作られました。例えば、*disputer*(論争する)、*députer*(代表を派遣する)、*réputer*(と見なす)、*supputer*(算出する)、*imputer*(計上する)、*amputer*(削除する)などなど。いつか時間があれば、私はそれらをすべてを数え、その話を語りましょう！

